

エコアクション21  
環境活動レポート



0007808

株式会社アメニティウエルネス

作成日

2024年 10月15日

## I.事業活動概要

- 社名 株式会社アメニティウエルネス
- 所在地 本社 第1工場：福井県鯖江市下新庄町第58号1番地2  
第2工場：福井県鯖江市下新庄町第27号2番地
- 法人設立 1996年8月8日
- 資本金 2,000万円
- 売上高(税抜き) 6,550万円(2024年度9月期)
- 代表取締役 福岡 秀樹
- 管理責任者と連絡先 福岡 洋子 TEL (0778) 54-7350
- 従業員数 10人(役員、社員、パート含む)

■許可の内容	許可番号	福井県知事1820042628	
	許可年月日	2021年11月30日	
	許可有効期限	2026年10月31日	
	事業区分	中間処理(破碎、選別、破碎・選別)	
	種類	破碎：	金属くず、「コンクリートくず」、がれき類
		選別：	廃プラスチック類、金属くず、「ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず」(廃太陽光パネルに限る)
		破碎・選別：	廃プラスチック類、金属くず、「ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず」(廃太陽光パネルに限る)
許可番号	鯖江市 第41号(一般廃棄物および事業系一般廃棄物)		
許可年月日	2023年6月5日		
許可有効期限	2025年6月30日		

- 事業計画概要 廃棄物処理を行う企業として地域社会の健康と地球環境の保全を認識し環境負荷の低減に努力します。
- 事業の範囲
  - ・産業廃棄物の中間処理業(再生砕石の製造・太陽光パネル処理)
  - ・一般廃棄物の中間処理業(廃プラ・PET・トレイの圧縮梱包)
  - ・太陽光発電の売電

### ■施設の状況

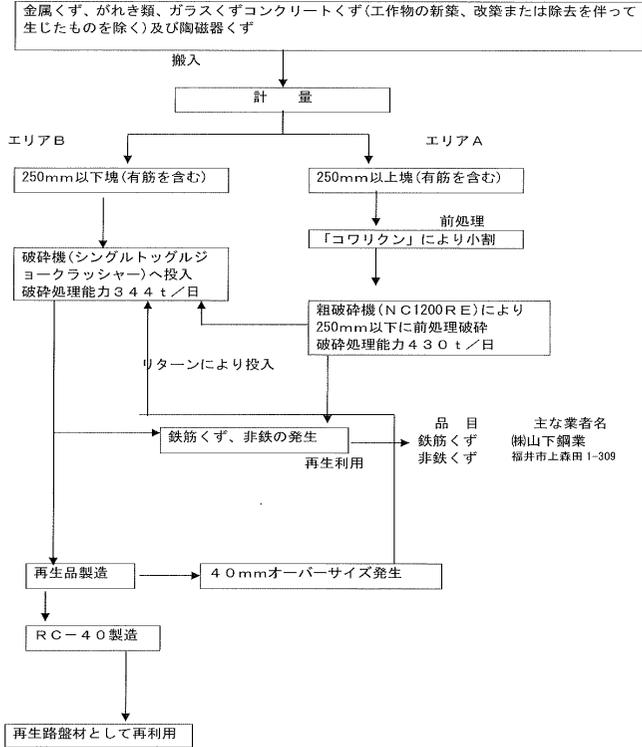
施設種類	第1工場	第2工場	
敷地面積	10,800m <sup>2</sup>	900m <sup>2</sup>	
延床面積	20m <sup>2</sup>	600m <sup>2</sup>	
産廃の種類	コンクリート塊、アスファルト塊 がれき類、二次製品、金属くず	ペットボトル・廃プラ・色トレイ 白トレイ・容器包装以外の廃プラ	
処理能力	344 t/日(稼働時間8時間)	4 t/日(稼働時間8時間)	
処理方式	破碎	圧縮梱包	
処理工程図	別途添付	別途添付	
		産廃の種類 廃太陽光パネル	
		処理能力 11.4 t/日(稼働時間8時間)	
		処理方式 破碎・選別	
		処理工程図 別途添付	
太陽光発電(2024年9月現在)			
施設種類	太陽光発電①(O社屋根)	②(第2工場屋根)	③(F社車庫屋根)
発電出力	38.5Kw	49.5KW	49.5KW
買取電力量	40561kwh	56602kwh	63600kwh

- 処理実績 破碎処理：18600 t 圧縮梱包処理：794 t(2024年9月期)
- 処理料金 廃棄物の形状で異なりますのでお見積をとらせて頂きます。
- 対象範囲 全社
- 対象期間 2023年10月1日~2024年9月30日

# 第1工場 (砕石プラント)

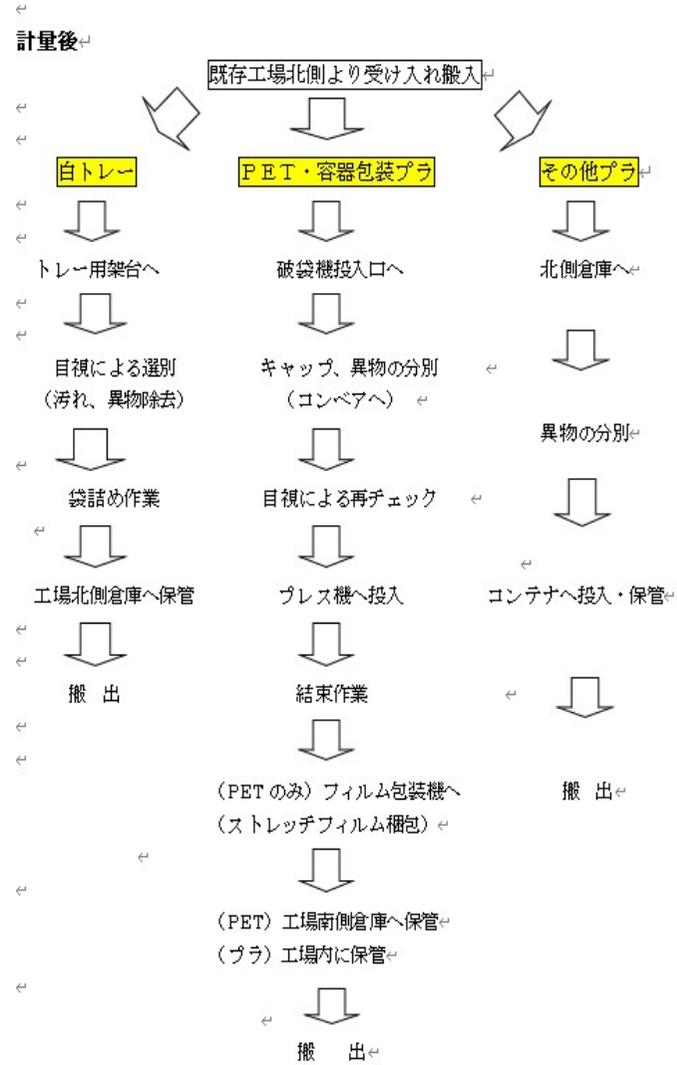
## 処理事業範囲フロー図

3-1



# 第2工場

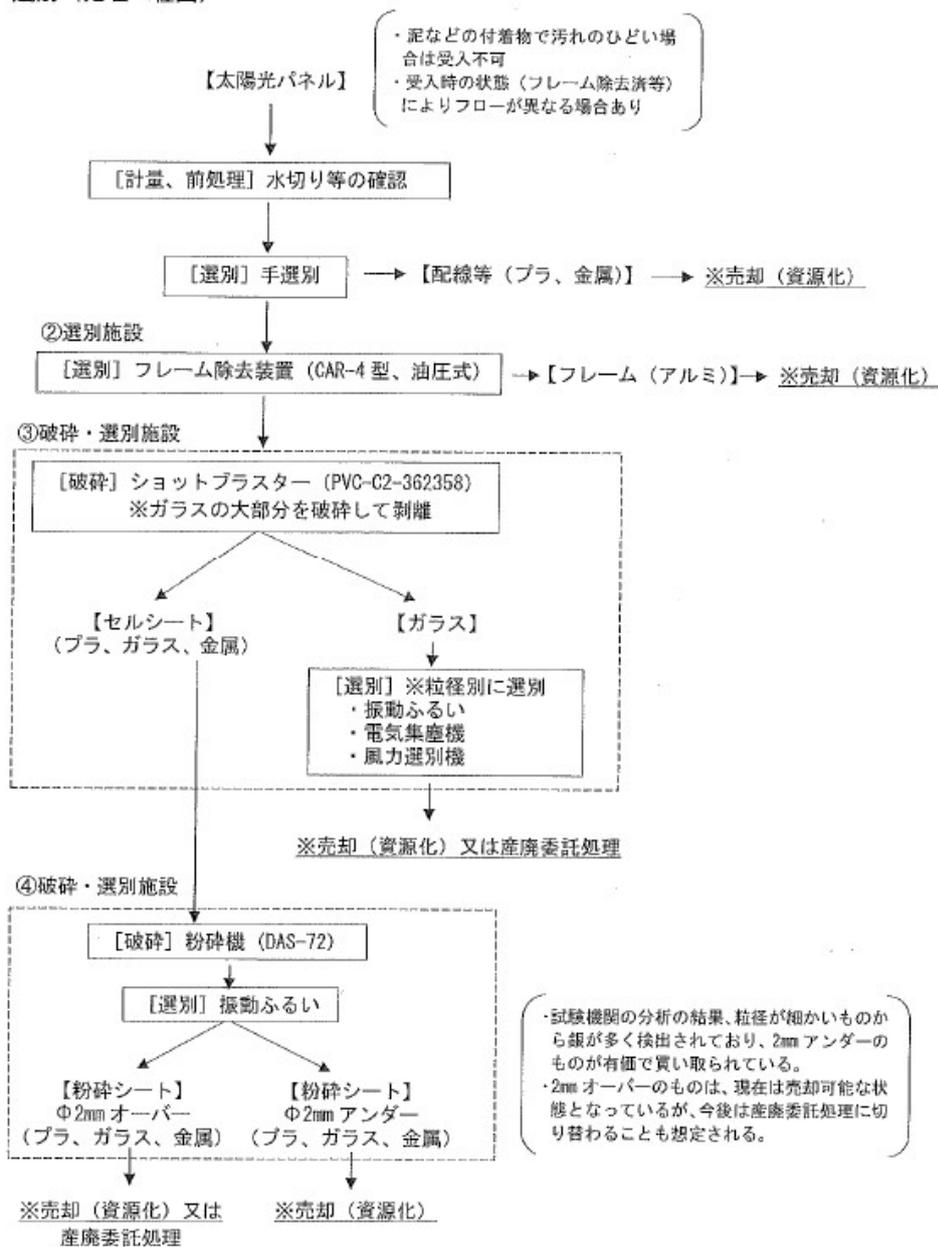
## 搬入から保管搬出までのフローチャート



# 処理事業範囲フロー図

3-2

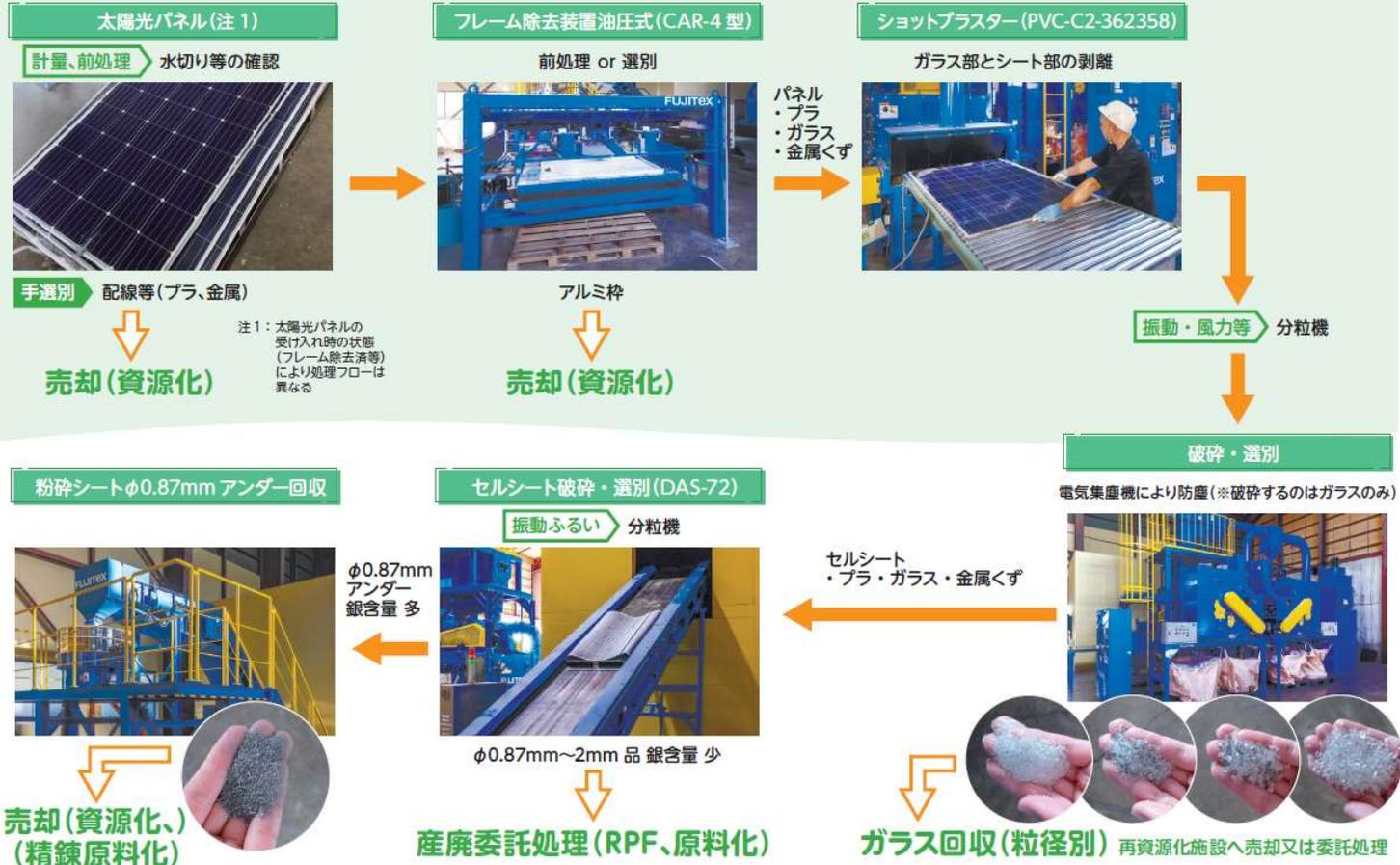
破碎・選別（処理工程図）



# 破碎・選別(処理工程図)

➡ 人力 or フォークリフト等にて移動  
➡ ベルトコンベア & フォークリフト等にて移動

※泥などの付着物で汚れのひどい場合は受入不可



## Ⅱ 環境方針

### ■基本理念

株式会社アメニティウエルネスは、廃棄物処理を行う企業として地域社会の方達の健康と地球環境の保全が最重要課題の一つであることを認識し、

「人と街と地球に優しい環境リサイクルの実践」  
の企業理念に基づき組織をあげて環境負荷の低減に努力します。

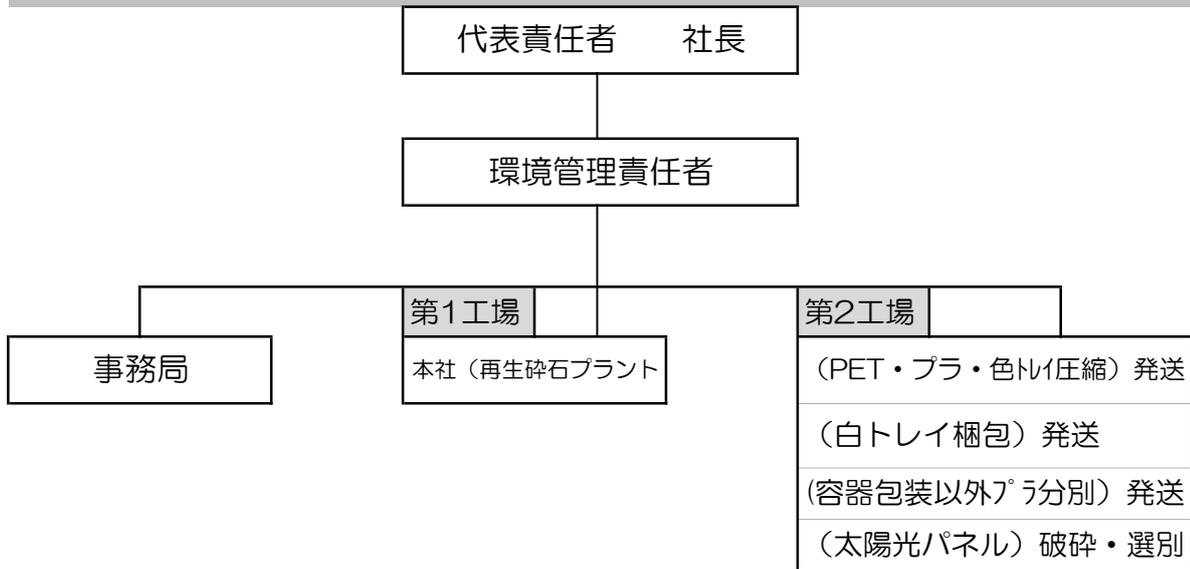
### ■方針

株式会社アメニティウエルネスは廃棄物の中間処理に係わる全ての事業活動において環境負荷を低減するために次の方針に基づき環境経営活動を推進して持続可能な地域社会での経営を目指します。

- 1.当社の事業活動に係わる環境影響を常に意識し、環境改善活動に積極的に取り組み継続的な環境負荷の低減や回避を図ります。
- 2.当社の事業活動に係わる環境関連法規、その他要求事項を守ります。
- 3.当社の事業活動に係わる環境影響のうち環境負荷の低減及び環境改善を図るため、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
  - ①二酸化炭素排出の削減
  - ②水使用量の削減
  - ③廃棄物発生の抑制とリサイクル処理の向上
  - ④会社内外の環境美化
  - ⑤グリーン購入に努めます。
  - ⑥地域社会貢献活動に努めます。
- 4.従業員ひとりひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境方針を全従業員に周知するとともに環境レポートで社外にも公表します。

制定日： 2011年 4月 1日  
改訂日： 2013年10月 1日  
改訂日： 2019年10月 1日  
株式会社 アメニティウエルネス  
代表取締役 福 岡 秀 樹

### Ⅲ 環境活動に関わる組織図(実施図)



部門	環境活動に関わる主な管理業務内容と環境対策に関する責任と権限
代表責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の策定</li> <li>環境責任者の任命</li> <li>環境目標と環境活動計画の承認</li> <li>環境目標、取り組み活動の評価と見直し</li> <li>環境レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境システムの構築、実施、維持、教育、連絡</li> <li>環境目標と環境活動計画の確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境レポートの確認</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気使用量、水道使用量、燃料使用量のチェックと取りまとめ</li> <li>環境レポートの作成</li> <li>環境上のクレーム窓口</li> </ul>
第1工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラント敷地内の環境活動の取組み、清掃箇所の把握と管理</li> <li>不具合の処理、報告</li> </ul>
第2工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>機械の安全管理、電力不要時の負荷遮断チェック</li> <li>不具合の処理、報告</li> <li>節電、節水に取組、清掃箇所の把握と管理</li> </ul>

## IV.環境目標とその実績

\*年度とは前年の10月～当年9月です。 排出係数：0.441

環境目標	2023年度		2024年度	
二酸化炭素排出量 88000	目標	108000	目標	第1工場：76000 第2工場：12000
	実績	88013	実績	第1工場：75046 第2工場：14284
	目標比	99.0%		
水使用量削減	目標	節水に努める	目標	節水に努める
	実績	節水に努めた	実績	節水に努めた
	目標比	○		
廃棄物排出量削減	目標	3t	目標	3t
	実績	1.94	実績	2.88
	目標比	104.1%		
リサイクル率の向上	目標	リサイクル率 100%	目標	リサイクル率 100%
	実績	100%	実績	第1工場：79.7% 第2工場：89.3%
	目標比	84.5%		
グリーン購入	目標	グリーン購入に 努める	目標	グリーン購入に 努める
	実績	コピー用紙・T.P エコ商品を購入した。	実績	コピー用紙・T.P エコ商品を購入した。
	目標比	○		
地域社会に貢献	目標	貢献活動に努める	目標	貢献活動に努める
	実績 (見学会)	12/3 県安全環境部24名	実績 (見学会)	10/23県I社* -環境部34名
		12/6 県産資協会6名		7/9～7/19市区長会40名
		6/23 惜陰小6年78名		8/9県I社* -環境部30名
6/27 中河小4年33名	7/11～7/21 市区長会46名	8/20鯖江市環境課25名		
目標比	○			

評価：二酸化炭素排出量と廃棄物排出量削減目標はほぼ達成できたが、リサイクル率の向上は厳しく減少している。原因の1つとして、第1工場での出荷数量が、受入量に対して伸びていない事にある。今後の景況動向に注意したい。

### ■今年度以降の目標

環境目標	2025年度	2026年度	環境目標	2025年度	2026年度
二酸化炭素排出量	88000	88000	処分における環境配慮	環境配慮に努める	環境配慮に努める
水使用量削減	節水に努める	節水に努める	グリーン購入	グリーン購入に努める	グリーン購入に努める
廃棄物排出量削減 目標排出数 (t)	3 t	3 t	地域社会貢献活動	貢献活動に努める	貢献活動に努める

## V.外部からの苦情等の受付結果

今年度、外部からの苦情等受付はありませんでした。

## VI. 主要な環境活動計画の内容と評価

<b>■二酸化炭素排出の削減</b>		評価
作業燃料の効率化	①各種機械ごとに燃料使用量を把握する。	○
	②作業日報を付け効率よく機械運転を図る。	○
	③設備運転時の空転時停止。(アイドルストップ)	○
	④機械の入替を考える際は二酸化炭素排出の削減を優先的に考慮する。	○
使用電力の抑制	①室内照明の減灯に心がける。	○
	②電力不要時の負荷遮断、変圧器の遮断を推進する。	○
	③空調の適温化を徹底する。(冷房28℃前後、暖房20℃前後)	△
	④太陽光発電量を月別チェックする。	○
<b>■水使用の削減</b>		評価
	①こまめな節水に努める。	○
	②散水時の地下水利用する。	○
<b>■廃棄物の減量化と分別によるリサイクルの推進</b>		評価
紙使用量の削減	①コピー用紙の裏面再利用	○
	②ファイルの再利用	○
	③古紙の再利用	○
廃棄物の削減	①再生骨材から発生する廃棄物の分別を徹底し廃棄物(廃プラ)の量を減らす。	○
	②廃棄物再資源化の推進	○
<b>■処分における環境配慮</b>		評価
	①プラント敷地内の清掃、周辺道路の清掃、除草。	○
	②工場内の清掃、消臭スプレー、周辺のゴミ拾い。	○
<b>■グリーン購入</b>		評価
	①再生紙の購入に努める。	○
<b>■地域社会貢献活動</b>		評価
	①工場見学希望者の受け入れ	○
	②環境学習会・講習会に参加	△

- ・当社は環境管理責任者の下に具体的取組事項を「環境活動計画・実施点検表」に基づき推進する。
- ・具体的取組事項の進捗状況の調整や全社展開はその都度実施する。
- ・環境活動に関わる管理業務内容と環境対策に関する責任と権限については組織図をもとに活動を展開していく。

### ○評価

- ・作業燃料の効率化や使用電力の抑制には注意をはらって実施していた。
- ・第2工場では各入荷量・出荷量とも前年に比べ減少したが、リサイクル率は1.8%増加した。が、全体では第1工場の出荷量が減少したので、84.5%に留まった。
- ・各種自治団体からの要望により工場見学会を開催し、弊社の事業活動等の紹介はできたしかし、資源物の分別力があがらず、異物混入がなかなか減らないのが課題である。燃えるゴミ袋に廃プラを入れて出すという行政の指導にも問題があるのではと対策を思案中。

## VII.次年度の目標取組内容

2025年度目標および取組内容	
<b>■二酸化炭素排出の削減</b>	
作業燃料の効率化	①各種機械ごとに燃料使用量を把握する。 ②作業日報を付け効率よく機械運転を図る。 ③設備運転時の空転時停止。(アイドリングストップ) ④メンテナンスの強化、受け入れ基準の順守。
使用電力の抑制	①室内照明の減灯に心がける。 ②電力不要時の負荷遮断、変圧器の遮断を推進する。 ③空調の適温化を徹底する。(冷房28℃前後、暖房20℃前後) ④太陽光発電量を月別チェックする。
<b>■水使用の削減</b>	
	①こまめな節水に努める。 ②散水時の地下水利用する。
<b>■廃棄物の減量化と分別によるリサイクルの推進</b>	
紙使用量の削減	①コピー用紙の裏面再利用 ②ファイルの再利用
廃棄物の削減	①再生骨材から発生する廃棄物の分別を徹底し廃棄物(廃プラ)の量を減らす。 ②廃棄物再資源化の推進
<b>■処分における環境配慮</b>	
	①プラント敷地内の清掃、周辺道路の清掃、除草。 ②プラント受入時に不要物混入をチェックする。 ③工場内の清掃、消臭スプレー、周辺のゴミ拾い。
<b>■グリーン購入</b>	
	①再生紙の購入に努める。
<b>■地域社会貢献活動</b>	
	①工場見学希望者の受け入れ ②環境学習会・講習会に参加

## Ⅷ.主な環境関連法規の遵守状況と違反、訴訟の有無

法令等の名称	遵守確認
■騒音 ○騒音規則法（第5条・第6条）*鯖江市の規制地域外 アイドリングストップなど地域住民への配慮	○
■廃棄物・リサイクル ○廃棄物の処理及び清掃に関する法律 保管基準の遵守、マニフェストの管理、交付状況報告	○
■火災予防 ○消防法 消火設備等の点検	○
■環境条例 ○福井県環境基本条例、鯖江市条例 廃棄物の減量化（事業者の責務）	○

○環境関連法規への違反や訴訟はありません。  
また、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

## Ⅸ.代表者による見直し

- 今年度、第1工場では機械の老朽化により故障を生じた為、新品の部品と交換した。騒音も静かで今後故障がない事を希望したい。
- また、第2工場では、休憩室のエアコンが老朽化の為修理できず、新しく取替た。このように、仕事の環境整備は多少実現し、今後のCO2排出量削減に期待したい。
- 太陽光発電については、大きなトラブルもなく順調に稼働している。
- 太陽光パネルの処分においては、稼働が上がらないので今後宣伝力も含め、自治体・NPO・学校などからの工場施設見学会を受入れ、環境活動・SDGsに協力していきたい。